

# 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 清水 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 宮内 徹 TEL 03-3259-7062  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	168,148	4.4	4,542	△48.8	5,600	△46.3	3,399	△55.9
29年3月期第3四半期	161,088	△8.0	8,864	△19.9	10,425	△12.1	7,714	△13.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 10,593百万円 (45.9%) 29年3月期第3四半期 7,262百万円 (△22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	83.68	—
29年3月期第3四半期	187.98	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	325,576	180,491	54.5
29年3月期	314,974	172,950	54.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 177,294百万円 29年3月期 170,021百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	5.00	11.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	25.00	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしましたので、平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

(注2) 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 1円00銭

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	224,000	△2.1	7,000	△46.1	7,500	△50.3	4,200	△60.8	103.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	42,975,995株	29年3月期	42,975,995株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	2,503,035株	29年3月期	2,067,511株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	40,619,649株	29年3月期3Q	41,037,188株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第103回定時株主総会において、株式併合について承認されたことを受け、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 第2四半期末 5円00銭(注1) 期末 5円00銭(注2)
2. 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 期末 20円70銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加等を背景に企業収益の改善が進んでおり、雇用環境の改善基調が続く中、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、景気は全体として緩やかな回復基調で推移しました。

一方、世界経済は、米国では企業収益の改善や良好な雇用環境を背景に景気回復が続いているものの、米国の政策動向、中国の財政・金融政策の引き締めや環境規制の強化による景気減速の懸念、世界的な地政学的リスクの高まりなどにより、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は168,148百万円と前年同期比4.4%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、経常利益は前年同期比4,824百万円減少の5,600百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比4,315百万円減少の3,399百万円となりました。

#### セグメント別の概況

##### (ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、新設住宅着工戸数は数ヶ月連続して対前年同月比未達にて推移しており、また、工期遅れ等の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、北米での販売の減速、一部顧客の在庫調整により外貨建てでは減少したものの、堅調な国内市場並びに為替の影響により、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品を中心に、市場での緩やかな回復が見られたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は109,247百万円(前年同期比4.3%増)となり、損益につきましては2,611百万円の営業損失(前年同期比3,739百万円の悪化)となりました。

##### (化成品事業)

化学品につきましては、フルオロカーボン製品の出荷が低調に推移しましたが、弗酸等の需要が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬品関連製品の出荷が低調に推移したものの、半導体用途の特殊ガス関連製品やリチウムイオン電池用電解液製品、及び農薬関連製品の出荷が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、省力肥料の出荷は増加しましたが、販売価格低下の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車分野の出荷が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成品事業の売上高は58,901百万円(前年同期比4.5%増)となり、損益につきましては7,154百万円の営業利益(前年同期比582百万円の減少)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、設備投資の支払などにより現金及び預金が11,086百万円減少する一方、株価の上昇などにより投資有価証券が11,371百万円、設備投資などにより有形固定資産が4,957百万円、売上債権が2,797百万円増加したことなどにより、10,602百万円増加し325,576百万円となりました。

負債は、設備投資の支払などによりその他流動負債が2,650百万円減少する一方、その他固定負債が3,089百万円、有利子負債が2,002百万円増加したことなどにより、3,061百万円増加し145,085百万円となりました。

純資産は配当の支払と自己株式の取得により3,042百万円減少する一方、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が7,182百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が3,399百万円増加したことなどにより、7,540百万円増加し180,491百万円となりました。また、自己資本比率は0.5%増加し54.5%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、平成29年10月31日に公表いたしました通期の業績予想に沿った業績で推移しておりますため、通期業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,342	20,256
受取手形及び売掛金	49,439	52,236
商品及び製品	24,690	25,097
仕掛品	3,882	5,559
原材料及び貯蔵品	16,051	16,333
その他	6,833	6,933
貸倒引当金	△130	△172
流動資産合計	132,109	126,243
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,386	29,824
機械装置及び運搬具(純額)	42,130	47,705
土地	26,728	26,655
建設仮勘定	16,955	13,974
その他(純額)	3,501	3,500
有形固定資産合計	116,703	121,660
無形固定資産		
のれん	41	11
その他	1,371	1,523
無形固定資産合計	1,413	1,534
投資その他の資産		
投資有価証券	59,104	70,475
その他	5,921	5,935
貸倒引当金	△277	△272
投資その他の資産合計	64,748	76,138
固定資産合計	182,865	199,333
資産合計	314,974	325,576

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,122	20,881
短期借入金	21,159	27,013
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	1,195	974
賞与引当金	1,461	434
その他	24,491	21,840
流動負債合計	77,429	71,144
固定負債		
社債	20,400	30,400
長期借入金	21,913	18,062
役員退職慰労引当金	12	12
特別修繕引当金	5,089	5,573
事業構造改善引当金	3,053	2,558
環境対策引当金	145	15
退職給付に係る負債	7,518	7,768
その他	6,459	9,549
固定負債合計	64,594	73,940
負債合計	142,024	145,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,109
利益剰余金	123,309	124,673
自己株式	△5,383	△6,390
株主資本合計	144,211	144,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,363	32,545
繰延ヘッジ損益	4	62
為替換算調整勘定	152	△97
退職給付に係る調整累計額	289	222
その他の包括利益累計額合計	25,809	32,733
非支配株主持分	2,929	3,197
純資産合計	172,950	180,491
負債純資産合計	314,974	325,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	161,088	168,148
売上原価	126,344	136,637
売上総利益	34,744	31,511
販売費及び一般管理費	25,879	26,968
営業利益	8,864	4,542
営業外収益		
受取利息	16	35
受取配当金	1,103	1,224
持分法による投資利益	303	324
為替差益	321	4
その他	1,276	1,080
営業外収益合計	3,020	2,670
営業外費用		
支払利息	330	440
固定資産廃棄損	333	395
その他	796	776
営業外費用合計	1,459	1,611
経常利益	10,425	5,600
特別利益		
固定資産売却益	138	-
投資有価証券売却益	102	296
特別利益合計	240	296
特別損失		
固定資産売却損	-	37
減損損失	-	56
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	-	94
税金等調整前四半期純利益	10,665	5,803
法人税等	2,743	2,169
四半期純利益	7,922	3,634
非支配株主に帰属する四半期純利益	208	235
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,714	3,399

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	7,922	3,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,922	7,180
繰延ヘッジ損益	43	57
為替換算調整勘定	△6,987	△305
退職給付に係る調整額	△112	△66
持分法適用会社に対する持分相当額	△525	93
その他の包括利益合計	△660	6,959
四半期包括利益	7,262	10,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,320	10,323
非支配株主に係る四半期包括利益	△58	270



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	104,713	56,375	161,088	—	161,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	812	939	△939	—
計	104,841	57,187	162,028	△939	161,088
セグメント利益（営業利益）	1,127	7,736	8,864	—	8,864

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,247	58,901	168,148	—	168,148
セグメント間の内部 売上高又は振替高	110	806	917	△917	—
計	109,358	59,707	169,066	△917	168,148
セグメント利益又は損失（△） （営業利益）	△2,611	7,154	4,542	—	4,542

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

(単位：百万円)

	ガラス事業	化成品事業	合計
減損損失	—	56	56